

塗膜の長期耐久性を評価する JISK5600 7-9 によるサイクル腐食試験

Dサイクル塩水噴霧試験
(5%塩化ナトリウム水溶液)

- 段階1 塩水噴霧
- 段階2 湿潤95±3%RH
- 段階3 熱風乾燥
- 段階4 温風乾燥
- 段階5 段階1に戻る



360サイクル腐食試験結果

バッファークート10システム (10/10/85)

残留塩分濃度 (0mg/m²)



残留塩分濃度 (200~300mg/m²)

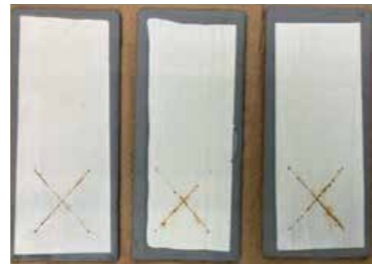


バッファークートNSシステム (NS/NS/85)

残留塩分濃度 (0mg/m²)



残留塩分濃度 (200~300mg/m²)



Rc-IIと同等以上の結果

- 素地の不具合部分は確実に補修し平滑に仕上げてください。
- ひび割れ補修等はシリコンシーラントにて施工してください。
- 指定色・汚れ防止が必要な場合はトップコート (バッファークート85) を施工してください。

- 施工上の注意点
- 未硬化の物は微臭があります。
 - 取扱い時には、保護具、保護メガネを着用してください。
 - 眼や口に入れないようにしてください。また皮膚に接触した場合は石鹼と水で洗い流してください。
 - 眼に入った場合は直ちに多量の水で洗い流し医師の診断を受けてください。
 - 換気の良いところで使用してください。
 - ご使用前にはSDSをお読みください。

240824

KTS 株式会社
クラタ・テクノシステム

本社 〒179-0075 東京都練馬区高松4-21-17
TEL:03-3926-4010 / FAX:03-6763-9411
URL:https://www.kurata-techno.com/

CSP事業部 〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島3-18-9
新大阪日大ビル601
TEL:06-6829-7200 / FAX:06-6829-7207

KTS
KURATA
techno system

NETIS 登録番号
KT-220094-A

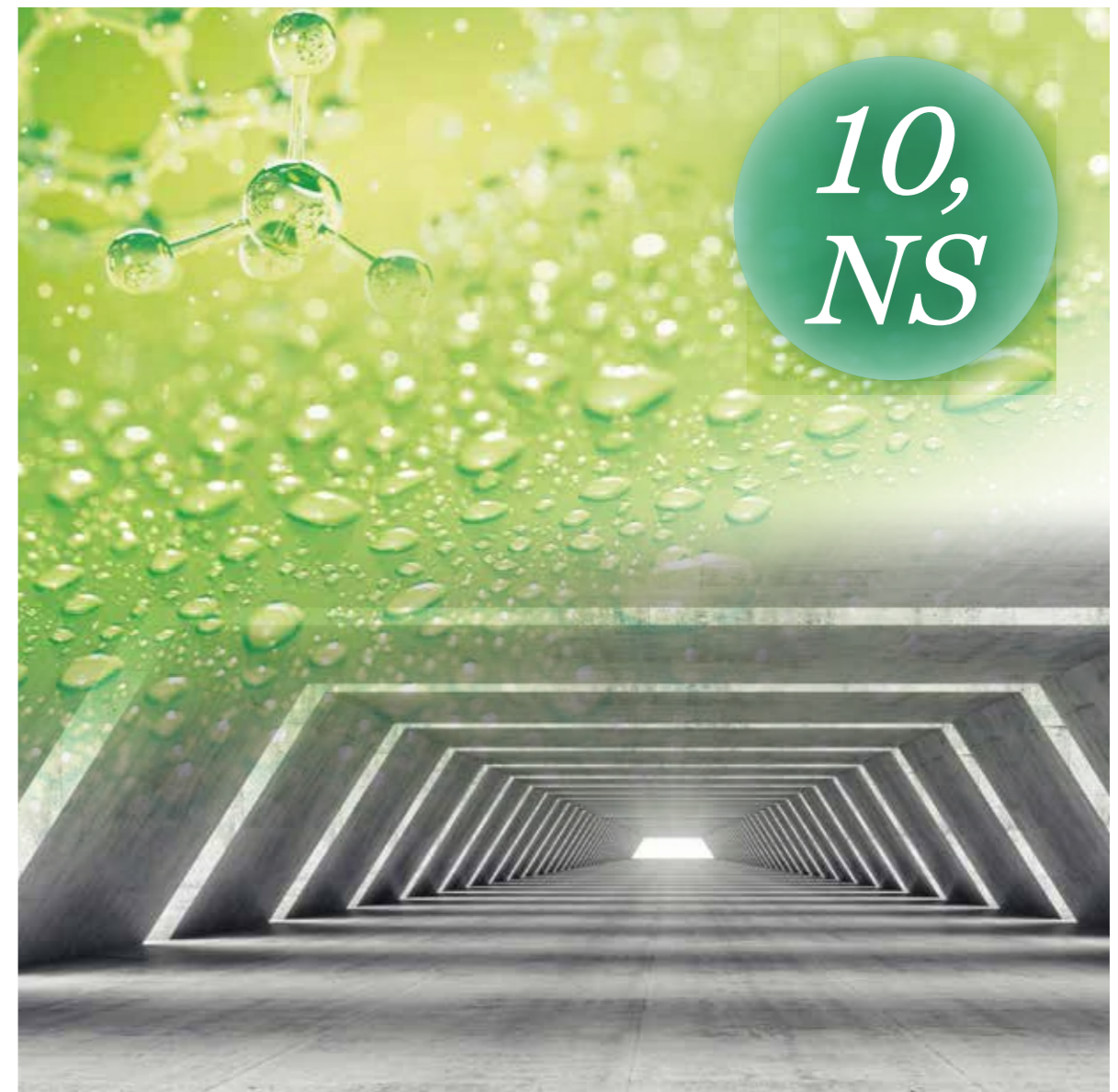
新しい防食システムを目指す

純シリコン100%樹脂塗料

BUFFER Coat[®]
バッファークート

シリコン樹脂弾性防水/防食コーティング材

バッファークート(1液型)



バッファークート10,NSは、人の肌を思わせるしなやかな強さが自慢です。

「バッファークート10,NS」の特徴

- ✓ 1液型です。混合の手間がいりません。
- ✓ 耐候性・耐久性に優れます。実績は40年以上。
 (太陽光ではSi-Oの構造を解離出来るエネルギーは不足しています)
- ✓ 一般塗膜にはないガス透過性がある。
 (塗膜がふくれることがない、下地が呼吸できる)
- ✓ 低温の-50℃から高温の+200℃の範囲で塗膜変化がない。
 (低温での施工が可能-10℃でも塗布できる)
- ✓ 下地の伸縮に追従する線膨張による剥離がない。
 (塗膜の伸び率は300~500%未満もある)
- ✓ 被塗物は選ばない、あらゆるものへ付着する。
 (4フッ化エチレン、PP、PEは除く)
- ✓ 鋼材錆面への直接塗布が可能。
 (残存塩分量により防錆下塗り材が必要です)
- ✓ 防水材としての性能と耐候性を発揮する。省工程に優れます。
 (シリコンシーリング材との併用が可能である)
- ✓ 撥水性が大きく毛細管現象が起きない為漏水が起きにくい。
 (接触角は最大103°)



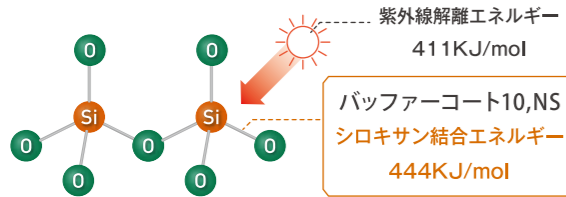
バッファークートは撥水塗膜を形成し、外部からの水分の侵入を防ぎます。



耐寒性試験の様子。
 -50℃から200℃の範囲で塗膜変化がなく、低温での施工が可能です。



「バッファークート10,NS」はシロキサン結合により耐候性に優れています。

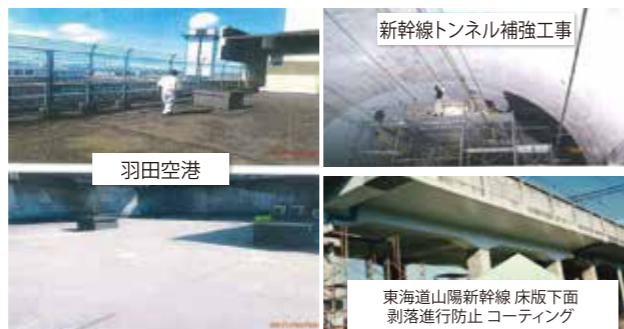


陸屋根防水コーティング仕様 施工例

陸屋根防水改修仕様(シンダーコンクリート・各種シート・ウレタン・アスファルト面など)

工程	材料名	塗布量/m ²	塗布回数	塗布方法	稀釈率
下地調整	劣化した旧塗膜がある場合や脆弱層は高圧水洗機を用いて油脂分や汚れを除去し乾燥した面とする。シーリングはピュアシリコンを使用し変成型はNG				
下塗り	バッファークート10	650~1000g	1回	ローラーまたは刷毛	0~5
	バッファークートNS	500~800g	1回	ローラーまたは刷毛	-
上塗り	バッファークート10	650~1000g	1回	ローラーまたは刷毛	0~5
	バッファークートNS	500~800g	1回	ローラーまたは刷毛	-

※アスファルト面、新設塩ビシートはプライマーを使用する。



1液型溶剤タイプ「バッファークート10」
 1液型無溶剤タイプ「バッファークートNS」

金属鉄鋼構造物面 防錆・防水コーティング仕様 施工例

金属面(非鉄も含む)防錆・遮熱(錆面・黒皮・塗り替・亜鉛面等)

工程	材料名	塗布量/m ²	塗布回数	塗布方法	稀釈率
下地調整	錆面・旧塗膜がある場合・黒皮鋼板などは電動工具を用いて3種ケレンAとして乾燥面とする				
下塗り	バッファークート10	250~300g	1回	ローラーまたは刷毛	0~5
	バッファークートNS	175~200g	1回	ローラーまたは刷毛	-
中・上塗り	バッファークート10	250~300g	1回	ローラーまたは刷毛	0~5
	バッファークートNS	175~200g	1回	ローラーまたは刷毛	-
※トップコートは指定がない場合は塗布が無くても性能は維持					
トップコート	バッファークート85指定色	130g	1回	ローラーまたは刷毛	-
	バッファークートNSトップ指定色	150g	1回	ローラーまたは刷毛	-



2020年6月施工(福島県)



昭和57年(1982年)竣工



高等学校体育館



桁端3種ケレンA後塗布



30年以上経過後ケレン無し塗布



施工後10年以上経過異状なし

壁面・防水・美粧コーティング仕様 施工例

壁面防水美粧仕様(ALC・モルタル・ボード面など)

工程	材料名	塗布量/m ²	塗布回数	塗布方法	稀釈率
下地調整	劣化した・旧塗膜がある場合や脆弱層は高圧水洗機を用いて油脂分や汚れを除去し乾燥する				
下塗り	バッファークート10	250g	1回	ローラーまたは刷毛	0~5
	バッファークートNS	200g	1回	ローラーまたは刷毛	-
トップコート	バッファークート85指定色	130g	1回	ローラーまたは刷毛	-
	バッファークートNSトップ	150g	1回	ローラーまたは刷毛	-

※新設モルタルは専用プライマーを使用する。
 ※シーリング材はシリコン系を使用する。変成シリコン系は使用しないこと。



1982年施工現在も健全
 30年ぶりの塗り替え



ALC面漏水対策効果抜群

JISK5600 7-9 によるサイクル腐食試験

水準名	n=3 平均値				
	一般部		クロスカット部		
	錆等級	膨れ等級	錆幅	膨れ幅	
A-1	0	0	0.7	1.3	バッファークート10 システム=10/10/85
B-1	Ri 0	0	0.5	0.8	
A-2	Ri 0	0	0.5	0.8	バッファークートNS システム=NS/NS/85
B-2	Ri 0	0	0.3	1.0	
A-3	Ri 0	0	0	1.5	Rc-I
A-4	Ri 0	0	0.3	1.3	Rc-II
B-4	Ri 0	0	0.5	3.3	
A-5	Ri 0	0	0.5	11.0	Rc-III
B-5	Ri 0	0	0.8	5.3	
A-6	Ri 0	0	1.6	3.8	錆転換型 防食塗装システム
B-6	Ri 0	0	0.5	6.3	

A:残留塩分濃度0gr/m² B:残留塩分濃度100~200gr/m²